



## 何故日経平均は何時まで低迷を続けるのか

最大の理由はニューヨーク株価の低迷である。

ニューヨーク株価の低迷の最大の原因はトランプである。

アメリカの製造業活性化と雇用増大、さらに国民の為の減税の資金源確保の為トランプは、「辞書にある言葉の中で最も美しく私が大好きな言葉、それは関税」を外国に課すと宣言した。

カナダ、メキシコに 25%、中国に 20%、アルミと鉄の輸入には一律 25%、アメリカに輸出される自動車にも 25%、アメリカからの輸入品に課税している国には同率の関税をかける。

アメリカの製造業活性化と雇用増は減税効果期待であるが、早くともトランプ就任 100 日後だろう。それまではエスカレートが続ける関税のデメリットだけになり、アメリカ経済は低迷し、株価も低迷する。トランプ大統領就任前は、パウエル FRB 議長発言でニューヨーク株価は動いたが、就任後はトランプ発言で一喜一憂である。

ニューヨーク市場では、「このままトランプの関税がエスカレートすればアメリカ経済はリセッションに陥る」と言う声が大きくなっている。

このままアメリカと相手国との貿易戦争になれば双方の経済が致命的打撃を受けることは自明である。

トランプは歴代の大統領の中で誰よりも株価に敏感なのに何故次々と追加関税を発表し株価を下げ続けるのだろうか。

もし私がトランプならどうだろうか。

エスカレートどころか過酷なまで厳しく関税を強化し株価が底を打つまで下げる。

株価が底を打ったところを見計らって法人税と所得税減税を発表する。

そして減税効果が無くなりかけると、製造業の為の公共投資、さらに軍事予算増額を発表する。

波及効果大の軍事産業と製造業を梃にアメリカ経済を押し上げる。

そこへ海外からアメリカ企業が帰還、海外投資資金がアメリカに一極集中すればトランプの言う経済黄金時代になる。

株価が上昇気流に乗るのに必要なことはトランプの言うように間屋が卸すかどうかではなく、市場にはっきりとゴールを見せてカネや太鼓を叩くことである。

これこそ私がトランプなら間違いなくやることである。

私は「インターネット目からウロコの増田塾」で毎朝場が始まる前に「本日の株式指南」と「本日の国際情勢」を動画でお送りしています。

例えばニッケイ 225 先物なら、いくらで買い指値注文を入れ、買えたらいくらに売り指値注文を入れたら良いかなど、正にタイムリーな実戦アドバイスをしています。

株取引をしているのにまだ増田塾に入っていない方は即入会し、来週から儲けて下さい。